

2008 年
10 月号

発行日 平成 20 年 10 月 15 日
(月 1 回/毎月 15 日発行)
発行元 オフィスタ広報・宣伝部
東京都新宿区二新宿 5-8-1 第一ともビル

今月のゲスト：
荒木隆宏（フリーダム代表取締役）
『会社とパートナーの育児に対する理解の重要性』

オフィスタNEWS 10 月号発刊にあたって

こんにちは。
「オフィスタNEWS」担当のnaosanです。

夏場の暇さ加減が嘘のように忙しい毎日を過ごしております。お子様の夏休みが終わって本格的にお仕事探しをスタートされる方が多くなったことを実感します。また、これからの年末ラストスパートに向かって人員体制も新たに企業基盤を固める企業や団体さまも多く見受けられ、我々スタッフも日々様々な方々とお会いする機会が増えてうれしく思っています。

オフィスタへご登録される方と面接をさせていただくと、よく聞かれるのが「私の年齢でもはたけますか?」、「子供を迎えに行くので残業が出来ないのですが大丈夫ですか?」という事をよくいわれます。

オフィスタのコンセプトはまさにココなのですが、改まって多くの人に言われるので今更ながらオフィスタがやらなければならない使命をズッシリと身にしみて感じる今日この頃です。

“はたらきたいという気持ちを大切に” “そして” “家庭もお仕事も大切に” “、不安は一緒に乗り越えて行きましょう!

オフィスタは仕事と家庭の両立を目指して働く女性/ママさんを応援します。

今回のオフィスタ NEWS もお気軽に読んでくださればと思います。



- オフィスタのホームページをご覧になったことがありますでしょうか? オフィスタではWEB上でも色々なお仕事、メルマガバックナンバー、Q&A など有益なコンテンツを揃えております。

アドレスは下記↓

<http://www.offista.com>



お問合せ先 : Mail. info@offista.com
TEL.0120-178-172 (フリーダイヤル)
FAX.03-5245-4640

編集 オフィスタ広報・宣伝部 メルマガ担当係
発行 日本プランニング株式会社 <http://www.offista.com>
はたらく女性を応援します/育児とお仕事 人材派遣のオフィスタ
※オフィスタNEWSバックナンバーも上記から閲覧できます。

(C)2008 OFFISTA

☆☆今月のゲスト☆☆

荒木隆宏（㈱フリーダム代表取締役）

『会社とパートナーの育児に対する理解の重要性』

こんにちわ。株式会社フリーダム代表の荒木です。この度オフィスよりご依頼をいただきましたので、「会社とパートナーの育児に対する理解の重要性」というテーマで、感じる部分を書いてみたいと思います。

弊社も「美容系」の業界に人材をアウトソーシングしていることもあり、登録スタッフは女性が多く、中には子育てをしながら弊社の中核として働いてくれているスタッフもおります。

女性が結婚して、更に子供を産んで育てながらも仕事に関わっていく為には、それを援助する社会のシステムも当然必要ではありますが、まずは「会社とパートナーの理解」が必要ではないでしょうか。それが行われていれば、働くママさんとしても精神的にかなり楽になるのではないかと思います。



かくいう私も6月に長男を授かった「新米パパさん」の一人として、現在育児の大半は仕事を一時休職している妻が行ってくれていますが、その中でも子供のお風呂、気付いた時におむつ交換、泣いた時にあやすなど、出来る範囲で育児には参加していますし、このスタイルは妻が仕事に復帰した後も続けていこうと思っています。「おっぱい」以外は男性でも出来る事ですからね。

そして我が社でもスタッフには基本的に、仕事は仕事で家庭とは切り離してしっかりとやってもらっていますが、何か困った事態になった時には最大限にフォローが出来る様に、或いは独身スタッフが結婚～出産後もこれまで通り仕事出来る様に、そういった体制は整えているつもりです。

日本は「2007年問題（団塊の世代の大量退職）」や今後の「少子高齢化」社会を迎えるにあたり、**労働力人口が減少の一途を辿っていく社会環境の中で、新しい労働力として期待されているのは「女性の社会進出」です。**

逆に「女性の社会進出」が「晩婚化」やそれに基づく「少子化」の遠因とも言われていますが、それは先に書いた様に社会的なフォローのシステムの整備、会社やパートナーの理解と協力がまだまだ充分でないが故に、という部分がある事もまた事実なのです。そこがクリア出来れば

「女性の社会進出」＝「晩婚化」「少子化」

ではなく、

「女性の社会進出」＝「働くママさんの増加」

という新しい図式が出来上がってくるのではないのでしょうか。

最後になりますが、女性に囲まれて仕事をしている環境にあるからか、正に「女性パワー、恐るべし！」を日々実感している次第です（笑）。

プロフィール

荒木隆宏（あらきたかひろ）

美容系（主に化粧品）業種へのアウトソーシング業界を経て、2006年に独立、現在はフリーダムにてオーナー兼社長として活躍中。
趣味は旅行、ドライブ、映画鑑賞、食べ歩き、お酒など。
6月には長男を授かり、最近は育児にも奮闘中の新米パパさんでもある。現在の最大の課題は新車購入を妻に納得させる事（交渉は難航中とのこと）。

株式会社フリーダム

本社：渋谷区恵比寿。美容系業界を中心に人材（販売員、メーキャップアーティスト、ネイリストなど）のアウトソーシング業を展開。それ以外にも各種イベントへの販売スタッフ、ナレーター（MC）や芸能関係への役者、エキストラなどのアウトソーシング事業も手掛ける。今後はカルチャースクールや美容系サロンの運営も計画。
「女性を癒し、元氣と活力を与える」を基本コンセプトに活動を行う。

☆☆育児中の女性お助けコーナー☆☆

オフィスタ広報・宣伝部

『お仕事で疲れた日でも安心の簡単クッキング』

毎日の献立は悩みの種ですね・・・しかも働いていると簡単でおいしいものが嬉しいですよ！
お手頃な食材を取り入れつつ簡単レシピをご紹介します♪
今回はアスパラを使ってみました！

～アスパラとチーズ卵焼き～

＜材料＞

チーズ、卵 3 個、ゴマ、小エビ、酢を少々

＜調理方法＞

アスパラをレンジでチン or 塩ゆでする。

卵にゴマ、小エビと酢少々入れて溶く。

＜ポイント＞

- ・ 卵に酢を少し入れると卵がフワフワになります。
- ・ 油を熱したフライパンに卵を流し込みアスパラとチーズを入れて巻く。
- ・ 焼き目が付いたら完成☆☆

色々アレンジして海苔やカニかまぼこを入れたりしても GOOD v(*^o^)/^☆☆

(次号のアスパラ料理第2弾へつづく)

派遣クイズ

退社時間に上司の方が残業でのこっておられます。このような場合、あなたなら上司の方にどう声をかける？

(答えは最終ページ)

- ① 疲れさまです。お仕事頑張ってください。
- ② 何か手伝うことがありますか。
- ③ 申し訳ございませんが、お先にあがらせていただいても宜しいでしょうか。



☆☆オフィスタからのお知らせ☆☆

オフィスタ総務部

オフィスタ・スタッフによる体験日記が連載開始

オフィスタ公式ホームページ内のコーヒー・ブレイクコーナーにオフィスタのスタッフによる派遣体験日記としてブログ連載を開始しました。実際に派遣ではたらく中での感じたこと、体験したことを派遣社員による生の声で綴っていく、新企画です。是非覗いてみてください。

<http://www.offista.com/coffee/index.html>



就業先で評価されるポイント・マニュアル発行！

現在ご就業中の方、また、これから新しい企業でご就業を開始される方へ就業先で評価されるポイントをまとめました。(編集：オフィスタ総合管理室)



みなさんが職場で評価されるということは、今後就業先での長期雇用や社員への登用につながっていくことなので基本的な事項を集約しました。能力的なスキル以上に評価ポイントとして大きなものをコッソリ教えます。

マニュアルは無料配布をしておりますので、希望者は下記メールへお気軽にお申し付け下さい。
申し込みメールアドレス：info@offista.com

企業が求める“これからの派遣とは”を考察

10/2 付の日経新聞に東京労働局より都内の有効求人倍率が 1.19 倍という低水準を記録したとの発表がありました。景気の減速で求人が減る一方で、企業の倒産が相次ぎ求職者が増加の一途を辿る中で、有効求人倍率は6カ月連続で下降し続け今後も一層の落ち込みの見込みであるとの発表でした。有効求人数そのものが減少し8月は前年同月比で15%減で23カ月連続の前年を下回るという就職・転職活動中の方にとっては、いよいよ最悪の事態になってきてしまいました。

わたしどもも企業や団体の人事ご担当者とお会いする機会が多いのですが、どの企業さまも人材を必要としているが、先の見えない景気の動向を考えると正社員採用を見合わせざるを得ない苦しい現状を痛切に感じます。反面、多くの企業さまが派遣という制度に大きな期待をかけている日本の社会情勢が伺えます。企業さまの声をお聞きして、まず第一に感じることは「派遣スタッフ」に寄せる期待がこれまでの「派遣」というイメージとは明らかに一線を画してきていることがわかります。皆様もそうだと思いますが、これまで派遣というと、企業の部分的なお仕事を一時的に補佐するポジションであり、スキル・キャリアを生かして能力・特性に特化した部門を助けるというイメージを持たれていることと思います。しかし、これからの派遣像は部分的な補佐役では通用せず、企業側も単なる一時的な補佐役ではなく正社員と同等もしくはそれ以上のポテンシャル（意欲・熱意）を長期的な視点で派遣スタッフに求める時代になってきています。

どんなに高いスキルを有していても補助的なお仕事の意識のスタッフではなく、派遣先の職場で正社員と同等の熱意を持ちスキルを積んで育っていく、将来的に企業の中核を担ってもらえるまでに育って欲しい、一緒に企画を出して欲しい、物言うスタッフ、そんな派遣像への期待感が企業からヒシヒシと感じられます。正社員を採用したくてもできない状況下ですから、正社員と同様の意識を有する派遣スタッフを求めることが、企業にとってこれからの主流になっていくのではないかと私見ではありますが考察しています。

派遣という制度が米国から渡ってきて40年、これまで米国流を見様見真似で成長してきた派遣制度は、ここに来て日本独自のスタイルとして進化し、日本の社会状況に適應する新しい日本流のシステムとして確立される転換期に差し掛かってきたのではないかと思います。

「スキル」よりも「意欲」が求められる時代になり、企業側も「短期的な補佐役」から「長期的な視野で企業自ら派遣スタッフを育成して仕事を任せていく」時代に突入していくのではないのでしょうか。

そこには、企業が派遣として育成した人材を景気等の動向を見定め、時期を見て即戦力として正社員採用していく、企業が将来の正社員候補を派遣という制度を通じて育成していく、そんなスタイルが一般化していくことは容易に想像でき、企業も現在の厳しい状況を堪え忍びながらも好景氣到来に向けての雇用準備を潜在的に派遣という中に意識し始めているという兆しをみせていることを実感させられます。

米国の派遣と日本の派遣が異なる路線を進むであろう近い将来を見据え、スタッフの皆様と企業を結ぶ私たちは、オフィスタのテーマの一つである「企業になくてはならない人材」という観点を今一度しっかり肝に銘じて、日本版の派遣路線への適應力をいち早く高める必要性が求められるとともに、スタッフの皆様にとっても「**正社員を目指すための近道として派遣を活用する**」時代がいよいよきたなと感じています。

オフィスタの派遣ニュース・コーナーでは、お仕事に関する、業界関係ニュース、各省庁より発表された行政報道情報をお届けしております。

<http://www.offista.com/press.html>

☆☆お仕事情報コーナー☆☆

安定した職場でゆったり長期就業！

（派遣）

国土交通省系の公益法人での発行書籍の受発注業務及び一般事務業務（港区虎ノ門）

公益法人（国土交通省所管）の公益法人での一般事務のお仕事ですので、安心・安定の職場です。発行書籍の受注と発注が主なお仕事ですが、未経験者でも歓迎いたします。

勤務形態：派遣

勤務期間：長期（1年以上働ける方）

勤務時間：9：30～17：30（内休憩 60 分）

業種/職種：一般事務（受発注業務など）

勤務地：メトロ銀座線 虎ノ門から徒歩3分

スキル・経験：簡単なエクセル・ワード

このお仕事はメルマガ愛読をいただいている方だけにお届けしている非公開のお仕事です。

エントリーはメールまたはお電話にて受付けております。

いいお仕事との出会いは一瞬です。

“明日からではなく”

<http://www.offista.com>

☆☆Q&Aコーナー☆☆

投稿：NKさん 41歳女性

Q. 私用で出勤が1時間遅れてしまいました。代わりに定時より1時間遅くまで仕事をした場合、残業申請はできるのでしょうか？

A. 私用で1時間遅れた場合、会社の労務管理上、「始業時刻に遅れた遅刻」という事実は残っています。従って、その代わりに定時より1時間遅くまで仕事をするという残業申請を請求することはできません。但し、会社が当日だけ、始業時刻、終業時刻を1時間ずらすという措置を認めた場合は別です。その場合は、遅刻という事実も残業という問題も発生しません。

…＜そのほかの気になるお仕事の疑問募集中＞……

お仕事に関する疑問なんでもどしどしお寄せ下さい。オフィスタの顧問社労士をつとめる大滝先生（神奈川県立産業技術短期大学講師）と馬場先生（馬場社会保険労務士事務所長）がお答えしてくれます。どしどしお寄せください。

▼あなたのお悩みも受け付け中。仕事や職場に関する疑問をお寄せください！

▼過去のQ&Aバックナンバーはオフィスタ・ホームページからダウンロードできます。

☆☆編集後記☆☆

〇おわりに

今月のゲストであります荒木さまが代表を務めますフリーダムは化粧品販売・イベント等への人材事業を手がけており、荒木社長の奥様がオフィスタのスタッフとして一緒させていただいたご縁もあり、かねてより共に企画立案などの面でもオフィスタとゆかりの深い企業さまです。実は前回ゲストのテスコ益田さまと荒木さまには、あるパーティの席にてオフィスタNEWSへのご執筆を2人に2号に渡ってご依頼したのがキッカケでした。ご多忙の中でのお願いであったにもかかわらず、オフィスタNEWSへの寄稿を快くお引き受けいただきましたこと、この場を借りてお礼及び感謝いたしますと共に素晴らしいゲストを2ヶ月に渡ってお迎えできたことを嬉しく思っております。

Makoto 記

オフィスタNEWS 第5号作成委員

編集長	kazuyo	オフィスタ広報・宣伝部
編集	hiroko	オフィスタ広報・宣伝部
監修	makoto	オフィスタ総務部
執筆	naosan	オフィスタ総合管理室
協力	大滝岳光	社会保険労務士事務所
ゲスト	荒木隆宏	(株)フリーダム
参考	日経新聞(2008.9.2付：関東版朝刊)	労働局資料、(社)日本人材派遣協会資料

…＜メルマガ オフィスタNEWSについて＞……

★お問い合わせ先

●配信停止

<http://www.offista.com/mailout.html>

●メールアドレス変更

<http://www.offista.com/melmaga.html>

●プライバシーポリシー

<http://www.offista.com/privacy.html>

派遣クイズの答え：①②③

答えは全て正解です。大切なのは、まだお仕事をされている方へ気持ちをしっかりと声に出して表現することです。上司の方も残業を好きでしているわけではありません。仕事への情熱・責任感を持って取り組んでいるわけですから、ささやかかもしれませんが、一声かけることが重要です。お手伝いできるのであれば協力を、それができない場合は応援を、そのときの状況にもよりますが、あなたも一緒に働く職場の一員としての礼儀として相手へのご挨拶は大切なことです。

MEMO：

このメールはオフィスタ・メルマガ希望者及びオフィスタ関係者へお送りしております。

この内容に覚えがない場合や、システムに関するお問い合わせは下記まで。

お問い合わせフリーダイヤル/0120-178-172

お問い合わせ受付時間/9:30~17:30（土・日曜日、祝日を除く）